

新しい河川水質指標

国交省



国土交通省河川局は、従来から水質の指標として使用されている BOD だけでは河川水質を適切に評価できず、また増水時、渇水時にも対応した指標、生き物に対するリスクを評価できる指標などが必要なことから新たな水質指標の検討を進めており、このたび、河川水質指標案を以下のように取りまとめました。

人と河川の豊かなふれあいの確保

住民との協働による測定項目	管理者が行う測定項目
ゴミの量・透視度・川底の感触・水の臭い	ふん便性大腸菌群数

豊かな生態系の確保

住民との協働による測定項目	管理者が行う測定項目
水生生物の生息状況	アンモニア性窒素・DO

利用しやすい水質の確保

住民との協働による測定項目	管理者が行う測定項目
	トリハロメタン生成能・ジオスミン・濁度・アンモニア性窒素

下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保

住民との協働による測定項目	管理者が行う測定項目
	全窒素・全リン

評価は A から D までの 4 段階評価とし、豊かな生態系の確保の視点で盛り込むアンモニア性窒素は 0.2mg/l 以下を非常に良好な水質 A とする一方、2mg/l 以上を最低の水質 D ランクとする方針です。来年度、1級河川のうち 9 河川を選定して試行し、05 年度から本格導入を目指す予定です。

資料:2004 年 3 月 24 日付 環境新聞

生活環境箇所 新井 裕之

事業内容

- 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析
- 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明
- 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定
- 4 水道法第 20 条に基づく水質検査
- 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査
- 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定
- 7 トータルサニテーション管理
- 8 委託試験・研究・開発

